

社会科部門

総評

自由研究では、やはり小学生や中学生らしい疑問にもとく作品が望ましいです。体系的に叙述する力は高校生以降になっても育てることは可能ですが、どんなテーマに取り組むのか、どんなところからフットスタートするのかが、研究では一番重要です。その点で今回文部科学大臣奨励賞を受賞した佐々木友香さんの作品は、感動的ですからあります。今後このような作品がさらに増えることを期待します。

文部科学大臣奨励賞

新京成線はなぜカーブが多いのか？

東京都 東京学芸大学附属竹早中学校 1年 佐々木 友香

中学生になつて通学で利用するようになった新京成線について「なぜこんなにカーブが多いのか」という日常的な疑問から出発し、深く歴史を追及した作品です。

疑問から仮説を立て、それを具体的に実証していく手法は着実に、歴史に迫る多様な視点を組み込み、アジアまで目を広げているのは見事というほかありません。

この種の研究ではとくに体系的に整理してまとめる傾向が多いのですが、中学生らしい素直な姿勢が表れた作品で、文部科学大臣奨励賞として十分なベルに達しています。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

塩の産業史——古代から現代へ——

東京都 東京学芸大学附属竹早中学校 1年 吉田 悠人

日本人にとって重要な産業であった塩を、古代から現代まで体系的にまとめた作品です。

平城京遷都1300年のイベントを機会に、遺跡から出土された古代の木簡に興味を持ち、塩づくりの方法や産地、塩のまち・香川を訪ねての塩づくり体験まで、的確にまとめています。

論の展開もわかりやすく、中学生としてきわめて高いレベルの作品に仕上がっています。

日本社会科教育学会 会長賞

私たちの郷土の通貨——その歴史と未来——

三重県 桑名市立星見丘小学校 6年 嶋田 雅

日本で最初の紙幣が郷土の三重県伊勢市でつくられたことに興味を持った雅さんは、1円の歴史と為替変動を研究テーマに選びました。

お金の歴史について、過去の貨幣の誕生の経緯や材質、形状の理由を調べ、図や写真を用いてわかりやすくまとめています。自分の住む地域や身の回りのことと絡めて、興味深く研究している様子がよく伝わる作品です。

中央出版株式会社 社長賞

世界のおんなは病気になるたらどうするの？

東京都 白百合学園小学校 5年 齊藤 景

ニュースでアメリカでは国民全員に保険があるわけではないことを知り、驚いた景さん。海外の保険事情についてインタビュー調査を行いました。

知人から始まり、最終的に28ヶ国の方にインタビューを行った景さんの行動力には驚かれます。疑問点や、自分の意見をしっかりとめられており、完成度の高い作品です。

優秀賞

毎日 新聞を読んで世の中を知ろう！

東京都 白百合学園小学校 4年 青柳 純

研究を進めることを楽しんでいる様子が伝わってきます。



川の研究

岐阜県 岐阜市立長良西小学校 6年 尾藤 和哉

かたつら まもろう おみこし

埼玉県 さいたま市立泰平小学校 4年 藤居 愛未



写真や各国の国旗を上手にレイアウトしています。